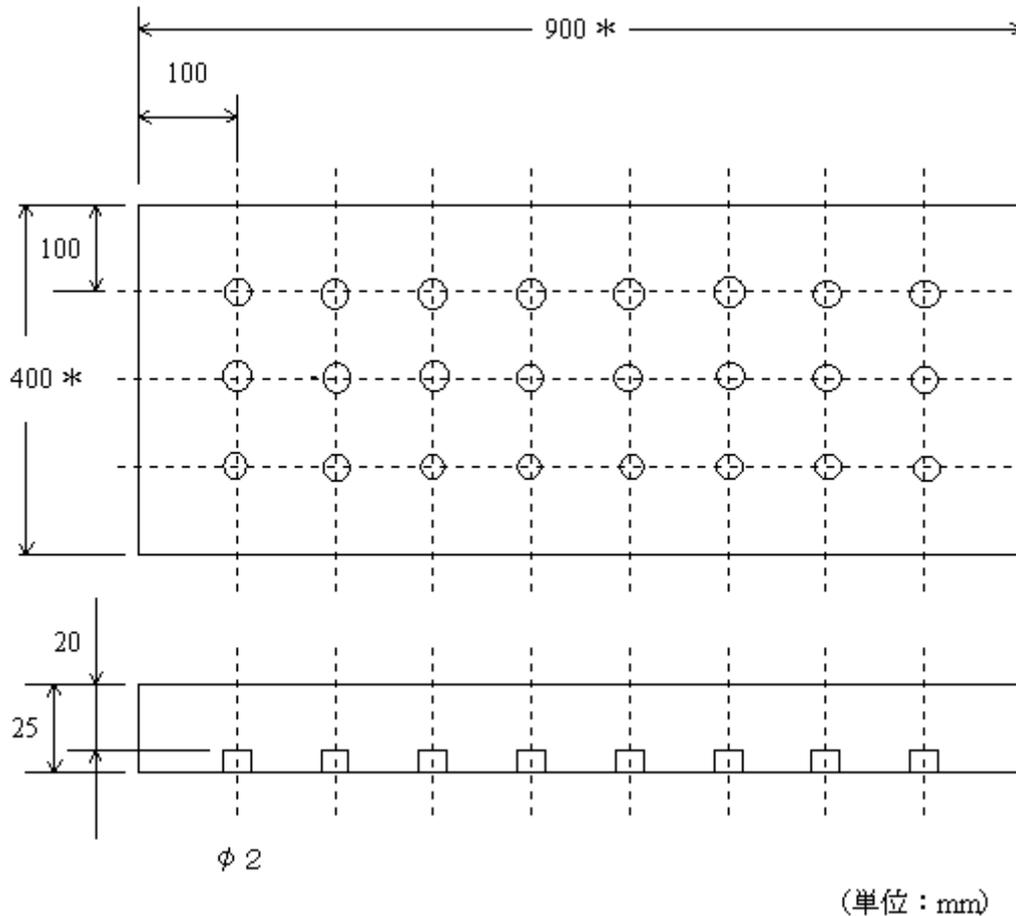


別 図—3

超音波探傷法連続板厚測定性能確認試験片



備考

- 1 *の寸法に関しては、連続板厚測定装置の仕様により変更することができる。
- 2 $\phi 2\text{mm}$ の裏面人工腐食部は、垂直にあけ、平底とする。加工は、放電加工又は機械加工とする。
- 3 $\phi 2\text{mm}$ の裏面人工腐食部の間隔は、100mmとし、加工数、配列、加工位置は連続板厚測定装置の仕様により変更することができる。
- 4 コーティング上から連続板厚測定を行う装置の試験片の表面は、コーティング加工し、コーティングの種類は、測定対象とするタンク底部のコーティング材と同種類のものとする。コーティングの厚さは測定対象とするタンク底部のコーティングの最大厚さとする。